

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ブロッサム	代表者	藤原 美里	法人・事業所の特徴	平成30年7月にオープンしたばかりの新しい事業所です。「地域の人気者」をモットーに、地域に密着した事業所を目指しつつ利用者様、その御家族だけにとどまらず、職員やその地域の皆様にも幸せになってもらう事を心掛けています。
事業所名	小規模多機能センターきらり妹尾	管理者	藤原 美里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	1人	3人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> 外部の会議やイベント等に参加するのが特定の職員に偏っていた。事業所内の職員で、どのような会議をしているのか分からない等、温度差があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の職員に偏らせずまんべんなく職員が地域の会議等に参加できるようにする。 参加した職員は事業所内で情報の共有ができるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> この付近でも強盗が出たり不審者が侵入してくるかもしれない。特に夜間は防犯面においてはしっかり気をつけて下さい。 これからも、この地域の行事には情報を提供するので積極的に参加して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の行事だけでなく地域の集まり等の場所の提供。 家族や地域の方が入りやすいように、こちらから積極的に行事等に参加して顔なじみになり、より入りやすいような関係作りを構築する。 ボランティアの方の受け入れを、より多くする。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> 夏祭り等にも出店、近くの催しにも利用者とも参加した。今後もイベントの情報を提供するので参加して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の民生委員の方と連携しながら、イベントの情報を収集し事業所として積極的に参加する。 地域の方と連携して「困り事相談会」のイベントを計画し実行する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ご近所の心配な方に事業所側から積極的に関わってないので、との意見が挙がる 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の民生委員や町内会長等と連携・情報共有しながら地域の心配な方と関わられるような体制を整える

E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・この地域の心配な方も運営推進会議で検討できるような時間を設けた方が良いかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の時に事業所の報告等にとどまらず地域の心配の方の事例検討が出来る時間を設けて話し合いの機会を持つ。・今後も地域の方と連携しながら事業所として取り組んでいく（例ー清掃活動）
F. 事業所の防災・災害対策			<p>他の事業所で取り組んでいたのは運営推進会議の時に避難訓練を実施して外部の方にも評価してもらおう事業所があった。・災害はいつ どこで何が起こるか予想がつかない（倉敷・真備の件にしても、まさかあんなに大災害になるとは思ってなかったはず・・）考えられる ありとあらゆる災害を想定して対策を講ずるべきだと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のハザードマップを活用して事業所独自の防災計画を職員・利用者だけでなく外部の人にも分かってもらえるように取り組む。